



日建連の社会貢献活動

総 目 次

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動	1
(1) 寄付活動	
II. 社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例	17
III. 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例	133

社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】

あ	アイサワ工業株式会社	 18
	青木あすなろ建設株式会社	... 20
	あおみ建設株式会社	 22
	株式会社浅沼組	 24
	安藤ハザマ（株式会社安藤・間）	 26
い	伊藤組土建株式会社	 28
	岩田地崎建設株式会社	 30
お	株式会社大林組	 32
	株式会社大本組	 34
	株式会社奥村組	 36
	オリエンタル白石株式会社	... 38

【か行】

か	鹿島建設株式会社	 40
	鹿島道路株式会社	 42
	株木建設株式会社	 44
き	北野建設株式会社	 46
く	株式会社熊谷組	 48
こ	株式会社鴻池組	 50
	五洋建設株式会社	 52

【さ行】

さ	佐藤工業株式会社	 54
	三幸建設工業株式会社	 56
し	清水建設株式会社	 58
	ショーボンド建設株式会社	... 60
せ	西武建設株式会社	 62
	株式会社銭高組	 64

【た行】

た	大成建設株式会社	 66
	大成ロテック株式会社	 68
	大日本土木株式会社	 70
	大豊建設株式会社	 72
	高松建設株式会社	 74
	株式会社竹中工務店	 76
	株式会社竹中土木	 78

て	鉄建建設株式会社	 80
と	東亜建設工業株式会社	 82
	東急建設株式会社	 84
	東洋建設株式会社	 86
	戸田建設株式会社	 88
	飛島建設株式会社	 90

【な行】

な	株式会社ナカノフドー建設	 92
に	西松建設株式会社	 94
	株式会社N I P P O	 96
	日本道路株式会社	 98
	日本国土開発株式会社	 100

【は行】

は	株式会社長谷工コーポレーション	 102
ひ	株式会社ピーエス三菱	 104
ふ	株式会社福田組	 106
	株式会社フジタ	 108
	株式会社不動テトラ	 110
ほ	株式会社本間組	 112

【ま行】

ま	前田建設工業株式会社	 114
	前田道路株式会社	 116
	松井建設株式会社	 118
	株式会社松村組	 120
み	三井住友建設株式会社	 122
	みらい建設工業株式会社	 124
む	村本建設株式会社	 126

【や行】

よ	寄神建設株式会社	 128
---	----------	----------

【わ行】

わ	若築建設株式会社	 130
---	----------	----------

以上 57社

社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】

あ	株式会社浅川組		134
	株式会社新井組		135
	荒井建設株式会社		136
い	勇建設株式会社		137
う	株式会社植木組		138
お	大木建設株式会社		139
	大林道路株式会社		140

【か行】

か	株式会社ガイアート		141
	株式会社鍛冶田工務店		142
く	株式会社クボタ建設		143
こ	広成建設株式会社		144

【さ行】

さ	三軌建設株式会社		145
し	新谷建設株式会社		146
せ	仙建工業株式会社		147

【た行】

た	第一建設工業株式会社		148
	大末建設株式会社		149
	大鉄工業株式会社		150
	株式会社田中組		151
	田辺建設株式会社		152

【な行】

な	株式会社中山組		153
に	日特建設株式会社		154

【は行】

は	株式会社橋本店		155
ひ	株式会社久本組		156
ふ	不二建設株式会社		157
	株式会社藤木工務店		158

【ま行】

ま	松尾建設株式会社		159
	松本建設株式会社		160
	馬淵建設株式会社		161
	丸彦渡辺建設株式会社		162
	株式会社丸山工務所		163
み	宮坂建設工業株式会社		164
め	名工建設株式会社		165

【や行】

や	株式会社山田組		166
よ	株式会社横河ブリッジ		167

【ら行】

ら	ライト工業株式会社		168
---	-----------	-------	-----

以上 35 社

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動

社会貢献活動協議会は、建設業界としての各種の社会貢献活動に関して、寄付要請の受付、要請案件の協議、協力の実施を目的としています。

原則として日建連の法人会員であり、本会の趣旨に賛同する会社をもって構成しています。

2021年3月現在 会員57社

アイサワ工業(株)	青木あすなろ建設(株)	あ お み 建 設 (株)
(株) 浅 沼 組	(株) 安 藤 ・ 間	伊 藤 組 土 建 (株)
岩田地崎建設(株)	(株) 大 林 組	(株) 大 本 組
(株) 奥 村 組	オリエンタル白石(株)	鹿 島 建 設 (株)
鹿 島 道 路 (株)	株 木 建 設 (株)	北 野 建 設 (株)
(株) 熊 谷 組	(株) 鴻 池 組	五 洋 建 設 (株)
佐 藤 工 業 (株)	三幸建設工業(株)	清 水 建 設 (株)
ショーボンド建設(株)	西 武 建 設 (株)	(株) 銭 高 組
大 成 建 設 (株)	大成ロテック(株)	大 日 本 土 木 (株)
大 豊 建 設 (株)	高 松 建 設 (株)	(株) 竹 中 工 務 店
(株) 竹 中 土 木	鉄 建 建 設 (株)	東 亜 建 設 工 業 (株)
東 急 建 設 (株)	東 洋 建 設 (株)	戸 田 建 設 (株)
飛 島 建 設 (株)	(株)ナカノフドー建設	西 松 建 設 (株)
(株) N I P P O	日 本 道 路 (株)	日本国土開発(株)
(株)長谷工コーポレーション	(株)ピーエス三菱	(株) 福 田 組
(株) フ ジ タ	(株) 不 動 テ ト ラ	(株) 本 間 組
前田建設工業(株)	前 田 道 路 (株)	松 井 建 設 (株)
(株) 松 村 組	三井住友建設(株)	みらい建設工業(株)
村 本 建 設 (株)	寄 神 建 設 (株)	若 築 建 設 (株)

(1) 寄付活動

No.	要請先	件名
1	日米がん撲滅サミット実行委員会	日米がん撲滅サミット2020開催費募金
2	一般財団法人経済広報センター	通常会費
3	一般財団法人スポーツ振興資金財団	事業費募金
4	日本赤十字社	事業費募金
5	防衛懇話会	事業費募金
6	公益財団法人日本交響楽振興財団	事業費募金
7	公益財団法人日本シルバーボランティアズ	事業費募金
8	日本聾話学校後援会	支援金募金
9	公益財団法人がんの子どもを守る会	事業費募金
10	公益財団法人がんの子どもを守る会	クリスマスプレゼント募金
11	公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所	事業費募金
12	公益財団法人警察協会	救済援護等事業資金募金
13	社会福祉法人いのちの電話	事業費募金
14	一般社団法人建設広報協会	国土交通行政推進事業協賛金
15	公益財団法人海外日系人協会	事業費募金
16	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会	富士教育訓練センター賛助会費
17	上智大学アジア人材養成研究センター	アンコール・ワット遺跡西参道修復工事募金
18	公益財団法人全国教諭師連盟	事業費募金
	合計 18件	

No. 1 日米がん撲滅サミット実行委員会

日米がん撲滅サミット2020開催費募金

がんは、わが国において1981年より死因の第1位となり、国民の二人に一人が罹る国民病とも言われている。近年は医学研究や医療技術の進歩、新薬開発等により必ずしも死に至る病ではなくなりつつあり、完治を目指して治療を続けながら通常生活を営む方々も少なくない。

第6回目の今回は、がん予防と撲滅の重要性をあらためて広く伝えていくことを使命に、日米両国が連携して開催した。

■第6回大会 ー日米がん撲滅サミット2020ー

テーマ「今、日米で始まるがん撲滅への挑戦！」

1. 会期 2020年11月15日
2. 会場 東京ビッグサイト 国際会議場
3. 参加 1,000名

写真提供／がん撲滅サミット事務局



日米がん撲滅サミット2020



No. 4 日本赤十字社

事業費募金（２００７年度～毎年）

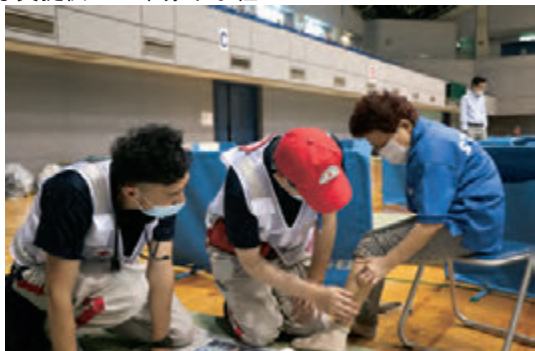
日本赤十字社は創立以来、世界１８６カ国の国際赤十字の一員として今日まで１４０年にわたって、赤十字の理想とする人道的任務を達成するため、地震・風水害等の災害救護、救急医療事業、血液事業、海外での災害・紛争犠牲者に対する国際救援活動など、さまざまな事業の推進に努めてきた。

寄付金は災害救護資材、救援物資、救急医療体制の整備などにあてられる。

【２０２０年度活動計画】

- １．国内災害救護体制の充実強化
- ２．海外での救援活動や開発協力
- ３．救急法等の普及、人材育成
- ４．青少年赤十字防災教育プログラムの普及
- ５．赤十字ボランティア活動の強化 等

写真提供／日本赤十字社



避難所内で日赤救護班の診察を受ける女性 @JRCS



救援物資の積み込み @JRCS



特別養護老人ホームの救護活動 @JRCS

No.5 防衛懇話会

事業費募金（１９６８年度～毎年）

防衛懇話会は、１９６５年９月３０日経済５団体（経済団体連合会、経済同友会、日本経営者団体連盟、日本・東京商工会議所、日本工業倶楽部）を発起人として設立された団体であり、国防思想の普及を図るとともに、国民と自衛隊の相互理解を深め自衛隊の健全な発展に寄与し、もってわが国の平和と繁栄に貢献することを目的としている。

【主な事業】

1. 防衛問題に関する講演会、懇談会等の開催
2. 部隊見学会の実施（陸海空自衛隊各部隊等）
3. 自衛隊退職者の就職援護協力
4. 遠隔地部隊の慰問激励
5. 国際貢献等派遣隊員激励
6. 防衛省に対する協力事業

写真提供／防衛懇話会



九州地区を襲った2020年7月豪雨の災害派遣に当たる陸上自衛隊第8師団を激励



中東に海賊対処活動のため派遣される護衛艦「むらさめ」を激励

No. 6 公益財団法人日本交響楽振興財団

事業費募金（1973年度～毎年）

日本交響楽振興財団は「音楽芸術をひろく人々に」をモットーに、交響楽の魅力を伝える活動を行っている。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、演奏活動はさまざまな制約を受けたが、わが国を代表する主要交響楽団が行う「巡回公演」を9回、アマチュアオーケストラによる演奏会を3回開催した。

■ベートーヴェン生誕250年

プロのオーケストラが演奏する生の音楽を聴きたいという要望に応え、各地で主要楽団による演奏会を開催している。本年度は京都府舞鶴市や長野県岡谷市、千葉県松戸市、埼玉県入間市、広島県庄原市など9カ所でコンサートを実施した。

2020年はベートーヴェン生誕250年ということもあり、交響曲第3番「英雄」（三ツ橋敬子指揮、東京シティ・フィル）、第5番「運命」（大植英次指揮、新日本フィル）、第6番「田園」（堀俊輔指揮、東京交響楽団）、ピアノ協奏曲第5番「皇帝」（大植英次指揮、新日本フィル、上原彩子）などを演奏した。

また、将来が期待される20代の独奏者を迎えて、ブラームスのヴァイオリン協奏曲（浮ヶ谷孝夫指揮、東京21世紀管弦楽団、成田達輝）、シベリウスのヴァイオリン協奏曲（三ツ橋敬子指揮、東京シティ・フィル、辻彩奈）、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲（鈴木織衛指揮、広島交響楽団、福田廉之介）、ショパンのピアノ協奏曲第1番（原田慶太楼指揮、読売日本交響楽団、牛田智大）など協奏曲の名曲を取りあげた。新潟県加茂市と長野市の演奏会では、当初ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」（いわゆる第九）演奏会を予定していたが、合唱者や演奏者の「3密」状態を避けるべくプログラムを変更した。第九に出演を予定していた声楽家（オペラ歌手）は東京交響楽団やオーケストラ・アンサンブル金沢との協演で、ビゼーのカルメンなどオペラの名曲を熱唱した。

■感染防止策を徹底した演奏会

アマチュアオーケストラでは、関西シティフィルハーモニー交響楽団（大阪）、広島市民オーケストラ（広島）、石巻市民交響楽団（石巻）が見事な演奏を見せた。ここでもベートーヴェンの交響曲第7番（石巻市民交響楽団）、第8番（関西シティフィル）、ピアノ協奏曲第5番「皇帝」（清水醒輝指揮、広島市民オーケストラ、三船優子）など名作が演奏され、聴衆からは大きな拍手が送られた。

本年度の最大の課題は、感染症対策を行いつつ、いかにコンサートを開催するかであった。当財団では、演奏する楽団や会場を管理する会館とも協力して、入場時の検温・消毒などの対策を徹底し感染防止に努めた。

公演ごとに行っているアンケートには、「コロナ禍でコンサートに足を運べなかったのが、久しぶりに生の演奏を聴けてとても感動した」という感想とともに、「感染症対策がしっかりとられていた」というコメントもあった。こうした来場者の声を胸に、次年度の演奏会を組み立てていきたいと考えている。

写真提供／日本交響楽振興財団



巡回公演(入間)



巡回公演(豊橋)

No. 7 公益財団法人日本シルバーボランティアズ

事業費募金（１９８０年度～毎年）

定年到達者の知識、経験を活用し、開発途上地域に対して奉仕隊による技術協力を行い、相互理解と友好親善に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. ボランティアの登録事業
2. ボランティア派遣
3. シニア海外ボランティア派遣事業の受託
4. 内外事情の調査研究および広報
5. 海外技術協力に係る内外諸機関との協力

写真提供／日本シルバーボランティアズ



ベトナム ハノイ建設大学での日本語教育授業

No. 8 日本聾話学校後援会

・ 支援金募金（１９７５年度～毎年）

日本聾話学校は、１９２０年（大正９年）故・米国駐日大使ライシャワー博士の両親によって創設された我が国唯一の「聴覚主導の人間教育」を行う私立聾学校である。聴覚障がい児に乳幼児期からの早期教育と保護者への支援を行っている。

子どもたちは、ことばの獲得に最も大切な乳幼児期から、最適に調整された補聴器や人工内耳を装用し、残された聴力を最大限に生かして学習します。学校では、聴覚を通し日々の生きたことばのやり取りを積み重ねることにより、単にことばだけでなく子どものより良い全体的な成長発達を促し、社会の中で望ましい人間形成ができるようにサポート。本会はこの教育を支援するための後援会組織。

■学校法人 日本聾話学校

所在地 東京都町田市野津田町１９４２

生徒数 ７５人 （２０２１年１月１日現在）

- ・ 乳幼児部 １９人
- ・ 幼稚部 ２１人
- ・ 小学部 ２０人
- ・ 中学部 １５人

写真提供／日本聾話学校後援会



創立100周年記念横断幕づくり



新型コロナウイルス感染症対策をとっての
中学2年生授業の様子

No.9、10 公益財団法人がんの子どもを守る会

- ・事業費募金（1977年度～毎年）
- ・クリスマスプレゼント募金（2020年度）

本会は、1968年10月に小児がんで子どもを亡くした親たちが中心となり、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの子どもを持つ親を支援しようという趣旨のもと設立され、子どもの難病である小児がんに関する知識の普及、相談、調査・研究、支援、宿泊施設の運営、その他の事業を行い、社会福祉及び国民保健の向上に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. 患児・家族支援の継続と時代のニーズに見合った各種支援事業の継続
2. 第3期のがん対策推進基本計画の中に盛り込まれた小児がん及びAYAに係る諸施策に対する協力・要請と相応した当会としての新たな事業の検討
3. 本部と支部及び支部間の連携による地域活動の強化
4. 小児がんに関する情報の発信・提供等の広報活動の強化
5. 総合支援施設及び宿泊施設の運営 等

写真提供／がんの子どもを守る会



2月国際小児がんデー（広報啓発活動）



クリスマスプレゼントプロジェクトの発送作業

No.13 社会福祉法人いのちの電話

事業費募金（1980年度～毎年）

困難や危機にあつて、誰ひとり相談できる人もなく、自殺などのさまざまな精神的危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見出すことを願いつつ、よき隣人として活動。

1953年に英国のロンドンで始まった自殺予防のための電話相談に端を発し、1971年に「東京いのちの電話」が設立され、日本で初めての電話相談事業が開始。

現在、約320名のボランティア相談員が、365日無休の電話相談、インターネット相談を行っている。また、ボランティア医師による電話医療相談も受けている。

この活動を担う相談員を毎年一回公募。相談員は1年半の養成研修を経て認定された後も月1回の継続研修を受けながら相談活動を続けている。

【主な事業】

1. 電話相談、インターネット相談、土曜医療相談
(ボランティア相談員の無償奉仕)
2. 活動への理解と支援拡大に向けての広報活動
3. 社会・外部組織との連携、協力

写真提供／いのちの電話



電話相談担当



全体研修会
(テーマ:コロナ感染症が投げかけるもの)

No. 15 公益財団法人海外日系人協会

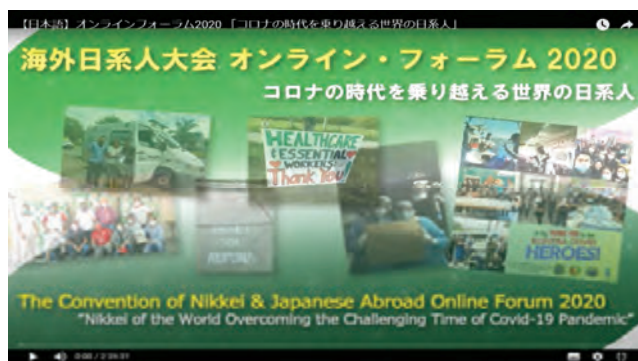
事業費募金（1977年度～）

本協会は、海外の日系人団体と各種の交流事業を総合的に行い、諸外国の対日理解を深め、各国間の親善及び相互の繁栄に寄与することを目的としている。

【公益目的事業】

1. 海外日系人大会 オンライン・フォーラム2020
2. 内外日系社会広報事業（協会だより、WEBサイト）
3. 在日日系人対応事業
4. 日系社会との連携強化事業
5. 継承日本語教育事業
6. ブラジル移住者里帰り訪日使節団支援 等

写真提供／海外日系人協会



「海外日系人大会オンライン・フォーラム2020ーコロナの時代を乗り越える世界の日系人」
（日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語によるYouTube配信）

トークセッションの様子



No. 16 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会

富士教育訓練センター賛助会費（１９９７年度～毎年）

富士教育訓練センターは、建設現場で直接「ものづくり」に携わる建設専門工事会社、設備会社、建設関連業団体（建設専門業団体）等２２団体の賛同により、１９９７年４月に静岡県富士宮市の旧建設省（現国土交通省）建設大学校朝霧校跡地に開校した、建設技術者・技能者の教育訓練施設。

富士山西麓の豊かな自然に囲まれた環境にあり、約５万平方メートルの広大な敷地と約１万平方メートルの施設からなる全国最大規模の建設関係教育訓練施設。

開校以来「ものづくりは人づくり」という信念の下、業界、企業のニーズに応えるオーダー型の教育訓練を中心に実施することで、建設現場で活躍する優れた人材の育成に努めてきた。教育訓練実績は、これまでに約１８万人、参加企業は、延べ約７万３０００社に及ぶ。

写真提供／全国建設産業教育訓練協会



型枠組立実習



墨だし実習

No.17 上智大学アジア人材養成研究センター

アンコール・ワット遺跡西参道修復工事募金（2016年度～）

上智大学は1996年、カンボジアにアジア人材養成研究センターを建設し、アンコール遺跡の保存・修復を行うカンボジア人保存官等の養成、およびカンボジアの歴史・文化を研究調査し、日本とカンボジアの学術交流研究拠点とした。

1996年にアサプラ機構（アンコール地域遺跡保存整備機構）とともに着工されたアンコール・ワット西参道（第1工区100m）の修復は、「カンボジア人の手によるアンコール・ワットの修復」を掲げ、カンボジア人保存官候補者に、土木・建築・考古の技能研修を実施しながら、石積みの建築技術を検証し、2007年7月に12年かかって完成。困難な社会情勢のさなかであって、当時、内戦後のカンボジア人を元気づける文化復興のシンボルとなる。

第2・第3工区の第2期工事が日本外務省のODA（一般文化無償資金協力：9,400万円）として採択され、遺跡修復に必要な機材が現場に届けられた。

2020年はコロナ禍で観光客が少なく、工事が予定より進捗し、第2工区はほぼ完了した。8月には観光客に開放予定。

【西参道修復工事概要】

- ・工事現場 西参道（アンコール・ワットの入り口参道）第2、3工区 100m
- ・工事期間 2016年～2024年（予定）
- ・総事業経費 7億円

写真提供／上智大学アジア人材養成研究センター



アンコール・ワット西参道修復工事の現況

No. 18 公益財団法人全国教誨師連盟

事業費募金（1995年度～毎年）

全国教誨師連盟は、教誨師が矯正施設（刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所）において被収容者に対し精神的・倫理的・宗教的な教誨活動を円滑に行えるよう支援することを本旨としている。

教誨は自己の信ずる教義に則り、宗教心を伝え被収容者の徳性を涵養するとともに、心情の安定を図り、被収容者には自己を洞察して健全な思想・意識・態度を身につけさせ、同時に順法の精神を培い、更生の契機を与える。もって、矯正の実を上げ、社会の安定に寄与することを目的とする篤志宗教家の全国的組織である。

現在、107教宗団、1,846名にのぼる教誨師が教誨目的達成のために大きな役割を果たしている。

【主な事業】

1. 宗教教誨に関する調査及び研究
2. 教誨活動を充実発展させるための支援及び能力開発
3. 関係官庁、教宗団及びその他の関係機関との連絡調整並びに教誨活動に関する提言
4. その他公益目的を達成するために必要な事業

写真提供／全国教誨師連盟



法衣をまとった教誨師（一部宗派）



第54回教誨師中央研修会 研修風景